



**プロ選手から学ぶ
夢を追い続けること**

1月24日、大始良小学校で、プロサイクリングチーム「シエルブルー鹿屋」の3選手による「夢教室」が開催されました。これは、大始良地区が「かごしま国体」の自転車競技(ロード)のコースに設定されていることから行われたもの。参加した5・6年生の児童たちは、それぞれ夢や努力について熱く語る選手たちに目を輝かせていました。



**燃え盛る炎の前に
一年の幸せを祈願**

1月18日、始良川河川敷で、鬼火たきが行われました。鬼火たきは、竹などで組んだやぐらで新年に飾った門松やしめ縄などの正月飾りをたいて、炎と竹がはじける音で邪気を追い払い、一年間の無病息災や家内安全を祈願する伝統行事。この日は、子どもから高齢者まで多くの地域住民が参加し、幸せに一年を過ごせるよう願いました。



**高限の魅力
を
自転車で一巡り**

レンタサイクルは3月末まで無償
高限地区コミュニティ協議会 TEL.0994-45-2525

1月19日、高限地区コミュニティ協議会による「ぐるりん高限サイクリング大会」が開催されました。これは、同協議会が高限地区を自転車で巡るための地図や看板を製作し、自転車のレンタルを始めたことから実施されたイベント。参加した約50人は、観音淵や谷田の滝など高限の名所を巡る約12kmのコースを、のんびりとペダルをこいで楽しみました。



**憧れのオリンピック
からの直接指導**

1月19日、市体育館で、ホストタウン事業の一環として、ロンドン五輪銅メダリストの迫田さおりさんによるバレーボール教室が行われました。この日は市内の女子中学生70人が参加し、迫田さんから練習での心構えや上達方法を教わった後、実技指導を受講。レシーブやトスの練習に汗を流しながら、憧れの迫田さんの話に熱心に耳を傾けていました。



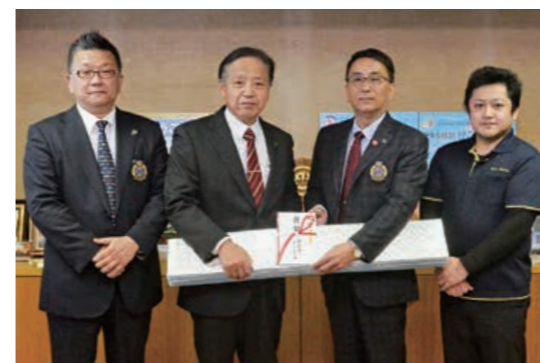
**世界一のダンサーと
踊って楽しむ**

1月31日、ダンサーのFISHBOYさんが下名小学校を訪れました。この日は、全校児童がダンスを披露した後に、FISHBOYさんが自身の代表曲「PERFECT HUMAN」の振り付けを指導。全員で曲に合わせて踊り、子どもたちはダンスの楽しさを全身で体感しました。また、2月1日にはリナシティかのやでFISHBOYさんのダンスイベントが行われました。



**来季こそは
リーグ優勝を！**

1月22日、プロ野球の横浜DeNAベイスターズに所属する大和選手が市役所を訪れました。市出身の大和選手は毎年オフシーズンに市内で自主トレーニングを実施。137試合に出場した昨シーズンを振り返り、「昨年は2位という悔しい結果に終わったので、今年こそはリーグ優勝したい」と来シーズンの目標を語りました。



**避難所用の
防災マットを寄贈**

1月21日、鹿屋第一ライオンズクラブから避難所で使用する防災マット300枚が市に寄贈されました。同クラブの川野学会長は、「近年、自然災害が増え、被害も多く発生している。ベッド代わりになる防災マットを避難者の負担軽減に役立ててほしい」と話しました。寄贈された防災マットは、体育館等の避難所で活用されます。



**「市美展」に多彩な
美術作品が集結**

1月25日から2月1日まで、リナシティかのやで、「第38回鹿屋市美術展」が開催されました。会場には、大賞を受賞した吐師良子さん(寿5丁目)の「本を読む子2020-II」をはじめとする159点の入賞作品と、同時開催の小・中学生によるジュニア展の入賞作品403点を展示。会場を訪れた人たちは、魅力あふれる多彩な作品に目を奪われていました。



**吾平に新春を告げる
名物あいら木市祭**

1月18・19日、吾平町商店街で、「第26回名物あいら木市祭」が開催され、植木や苗木、地元の特産品等の販売のほか、舞台演芸や抽選会が行われ、多くの来場者が買い物などを楽しみました。



**柔道で五輪3連覇の
野村さんが講演**

1月25日、市文化会館で、鹿屋肝属法人会青年部会35周年記念事業として、柔道家・野村忠宏さんの講演会が開催され、五輪3連覇達成後も40歳まで現役を続けた野村さんの体験談が披露されました。



**300年の歴史を持つ
くしら二十三や市**

1月25日・26日、串良総合支所周辺で、「くしら二十三や市」が開催されました。これは約300年の長い歴史を持つ伝統的な市で、訪れた人たちは、刃物や苗木などを買い求めていました。



**県代表の誇りを胸に
全国大会に挑む！**

1月27日、田崎ソフトボールスポーツ少年団の選手・監督らが市役所を訪れました。これは、同チームが昨年11月に行われた「第13回春季全日本小学生ソフトボール大会県予選」で準優勝し、3月に埼玉県で行われる全国大会への出場を決めたことから行われたもの。千年原准大さん(田崎小5年)は「最後まで一生懸命戦い抜きたい」と抱負を語りました。



**まちのヒーローを
増やそう！**

1月25日、市内ホテルで、「第2回消防団シンポジウム」が開催されました。この日は、消防庁消防団員等充実強化アドバイザーの勝宮章さんの基調講演が行われた後、細山田分団班長の江藤秀樹さんらが地域での活動事例を発表。また、出演者全員によるパネルディスカッションが行われ、消防団員の確保策などについて活発な議論がなされました。